

第2回 会計ルネッサンス・フォーラム

主催: 関西大学大学院会計研究科

テーマ わが国公認会計士制度改革の行方
今、求められる専門職業会計人

日付:
2010年6月23日(水)

時間:
午後3時~午後6時

会場:
関西大学千里山キャンパス
第1学舎1号館
千里ホールA

参加費無料

- ◆ 八田 進二 先生
(関西大学大学院会計研究科客員教授 / 青山学院大学大学院会計プロ
フェッション研究科教授 / 会計大学院協会理事長)
「新たな制度と教育から考える」
- ◆ 藤沼 亜起 先生
(関西大学大学院会計研究科客員教授 / 中央大学大学院戦略経営研究
科特任教授 / 国際会計基準委員会財団評議員)
「国際的な視点から考える」
- ◆ 脇田 良一 先生
(関西大学大学院会計研究科客員教授 / 早稲田大学商学学術院教授 /
前公認会計士・監査審査会常勤委員)
「監査業務の現状から考える」

司会: 松本 祥尚
(関西大学大学院会計研究科教授)



医師・弁護士と共にわが国における三大国家資格と言われてきた公認会計士の資格制度が大きく変わろうとしています。既に金融庁において、公認会計士制度を改革・変更すべく「公認会計士制度に関する懇談会」が2009年12月より毎月開催され、この6月22日に取り纏め案が策定されることになっています。

2003年の公認会計士法改正によって試験制度を含む公認会計士制度が大きく変更されたことにより、わが国でも国際基準に則った会計大学院等の高度専門職業教育機関が設置され、その教育面や実務面での成果が問われる矢先の制度変更は、わが国における高度専門職業教育のあり方や、わが国公認会計士を含む高度職業会計人の国際的な地位や評価にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

今回のフォーラムでは、正に進展しつつある公認会計士制度に関する懇談会における議論を踏まえ、今後のわが国公認会計士を含む高度職業会計人が、どのように育成され、その質を維持・向上させることが期待されているのかについて、3名のわが国会計・監査制度のキーパーソンの先生方にご討議頂くことに致しました。是非とも多くの皆様にご参加されますよう、心よりお待ち申し上げます。

2010年5月

関西大学大学院会計研究科 研究科長 柴 健次

関西大学

564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35

電話: 06-6368-1121(代表)
専門職大学院事務グループ
e-mail: kaikei@ml.kandai.jp